

平成 18 年度 第 2, 3 回学生評価委員会議事録

日 時： 2 回 平成 18 年 10 月 27 日（火曜日）12:45～13:30

3 回 平成 18 年 11 月 10 日（金曜日）12:45～13:30

出席者： 教員：近津博文（ ）、安田進（ ）、有田正光（ ）、石澤俊希（ ）

M2：小沼幸訓[学生委員長]（○, ○）、大久保洋子（ ）、森田佳奈栄（○, ）

M1：今井大輔（○, ○）、穂川ゆき子（○, ○）、與座靖子（○, ）

4 年：芝崎裕也（○, ○）、白鳥翔太郎（ ）、福田裕子（○, ○）、渡部真理（○, ○）

3 年：畑勇輔（○, ○）、檜山雅史（○, ○）

2 年：田嶋規雄（○, ○）、羽根浩二（○, ○）

1 年：長谷川奉大（ ）、萩原翔（ ）、高野勝成（ ）

第 2 回 議題 「学生評価委員会の活性化方法」

1. ・年 1 回か 2 回、先生方から生徒へ説明してもらう機会を作る。（成績配布時にでも）
・新入生については、新入生ガイダンス時に先生方から学生評価委員会や JABEE について説明してもらう。また、それだけでは印象が薄いため、各授業の初めのガイダンス時に学生評価委員会の存在を説明していただき、授業に対する意見を聞いてくれる組織があることを伝えてもらう。
2. ・学生評価委員会で話し合った内容を全生徒にメール配信する。そのことにより、学生評価委員会の存在を知ってもらうと共に、意見のある学生は返信してもらう。意見収集は各学年の評価委員が担当する。
3. ・学生評価委員会の HP を作成する。
（現在、G 科の WEB に学生評価委員会の HP があるため、そこに書き込める掲示板を設ける。しかし、書き込み時に匿名だと荒れる傾向があるため、何らかの制約を設ける）。
1）、2）を実行する方向で検討していく。そのことにより、学生評価委員会の回数もおのずと増え、活性化すると思われる。

※別途検討事項 「学生評価委員の選定方法」

- ・現在、3 コース制になっているため、各学年各コースから 1 名ずつ選定する。よって各学年 3 名の委員を候補とする。選ぶ学生の基準として、成績上位の真つ当な意見を述べられる学生を選定する。

第 3 回 議題 「学生評価委員会からの提案」

1. 提案事項

学生評価委員会の活性化に伴い、年に一度、先生方と学生評価委員で討論会を行う。

2. 「討論会を行う」に至った理由

今年度の会議では、学生評価委員会の活性化方法を検討してきました。その結果、第 2 回で議論したような方法により、学生評価委員会の存在を学生全体に知ってもらうことが出来ると考えます。そのため、学生評価委員会の持つ意味や意義が今までよりも大きくなると思われます。

昨年度までの学生評価委員会の活動は、アンケートを実施し、その結果を集計し、報告書を提出していました。そして、その報告書をもとに、先生方には改善方法等を話し合っていました。その返答が学生には十分に届いておらず、改善されたかも分からないのが現状です。この先、このような傾向が続くのであれば、学生評価委員会を行う意味がありません。

そこで年 1 回、先生方と学生評価委員が討論会を行うことで、生徒の意見を直接伝えることができ、また、先生方からの意見も直接聞くことができます。その議事録を公開することにより、全生徒にも先生方からの意見を伝える事ができます。

学生評価委員会からのアンケートと結果

学生評価委員は、年に3～4回各学年の代表者を集めて大学施設や授業に対する意見や要望を聞いています。その結果を先生方に提出し、改善していただけることを目的としています。

総回答者数：184人

1. 授業に対する苦情はありますか？

はい（71人）

いいえ（113人）

2. 授業の改善方法など提案はありますか？

はい（27人）

いいえ（157人）

3. 学生評価委員の存在を知っていましたか？

はい（33人）

いいえ（151人）

4. 学生評価委員に参加したいですか？

はい（7人）

いいえ（176人）

両方（1人）

<注意>

現在、学生評価委員は各学年に2名ずついます。今から委員を変更することは出来ないので、参加してくれる学生の方には、学生評価委員会を開催する前にメールで話し合う内容を送信します。そのメールに意見や要望を記入して返信してください。返信された意見を学生評価委員の意見としてまとめて先生方に提出いたします。